



中川市政では大胆な政策展開は難しい！

宮越 馨（無所属）



問／不都合な大合併後20年近くになる。人口も著しく減少し、まちはちぐはぐになっている。このため、合併を見直し、中郷区を妙高市に再編するとともに、頸北及び東頸ブロックに特別区制度を導入し、区長を配置し、行政の効率化と住民サービスの向上を図るべきだ。

答／中郷区の地域自治を推進している中で、見直しは考えていない。ブロック制については、導入の考えはないが、地域自治区の区域や総合事務所、検討を進める際に参考としたい。

問／国の少子化対策である第3子から高卒まで月額3万円を2万円上乗せして、私の政策「子ども年金」月額5万円とし、全国のモデル都市として取り組み、人口増の政策を図るべきだ。

答／今後も子育て環境を整備し、時宜に合った政策を実行していく。

問／新幹線駅周辺の大規模区画整理事業（スマートタウン）の推進、高田本町の駐車場の実質無料化（3時間無料）、直江津駅前再開発のための小学校の統合を進めるべき。

答／情勢の変化に応じ、研究を重ねていきたい。

問／労災病院跡地利用は、市が労働者健康安全機構より移譲を受け、コワーキング（テナント）病院として継続すべきだ。

答／病院施設が老朽化しており、実現は難しい。

抗議文を市長へ手交しました

6月21日（金）に市議会6月定例会一般質問において失言した中川市長へ、議長から抗議文を手交しました。

市長はこれまでも、この度の発言以降も、同様の失言を重ねており、関係する方々を大いに傷つけたことは取り返しのつかない重大な過ちであることに加え、市政を議論すべき議場を混乱させ、審議を滞らせたことに重い責任があることから、市議会の総意として、市長に対して厳重に抗議したものです。

この度の市長による不適切発言に対する申入れ

上越市長 中川 幹太 様

去る令和6年6月18日の上越市議会6月定例会一般質問における市長の市内事業所及び市民に対する不適切な発言について、市長は即座に議場で謝罪と取消を行いました。

しかしながら、報道等によると、その後も同様の失言を重ねており、市民の市政に対する信頼感の喪失など、今後の市政運営に計り知れない影響を与えています。

上越市議会としては、以下のとおり、今回の市長の度重なる失言に対して厳重に抗議します。

- これまでも、そして今回の発言以降も、同様の失言を重ねており、議会としては見過ごせないものとなっている。
- また、この度の失言で、関係する方々を大いに傷つけたことは取り返しのつかない重大な過ちであり、その責任は極めて重い。
- 加えて、市政を真摯に論議すべき議場を混乱させ、審議を滞らせたことにも重い責任がある。
- 今後、二度とこのような事がないよう、市議会の総意として、市長に対し厳重に抗議する。

令和6年6月21日

上越市議会

議長 渡邊 隆

